

# 西神ニュータウンの 災害リスクを考える

## 西神ニュータウン研究会 第235回例会

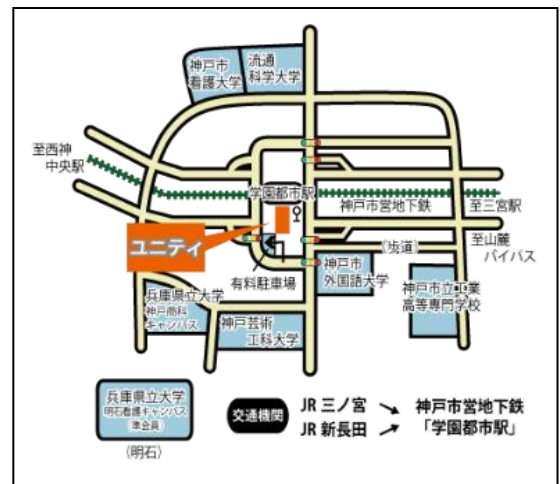
講演者 太田 敏一氏（防災リテラシー研究所代表）

日本は世界でも有数の災害が多発する先進国です。その中であって、西神ニュータウンだけが、そこから免れると思うのは、あまりにも楽観的です。日本で起こる災害の大半が、豪雨災害と地震です。今回は、地震と豪雨災害について、西神ニュータウン固有の災害リスクについて提示し、それにどのように対応していけばよいかをみんなで考えたいと思います。あわせて、備えを考えるためのワークショップ手法「AB法ワークショップ」の方法についても紹介します。

○日時 2024年1月24日（水） 18:00～20:00

○場所 UNITY（大学共同利用施設） 特別会議室  
ユニバープラザ2階（地下鉄「学園都市」駅前）

○会費 年会費（下半期）500円  
当日のみ参加 200円  
（年会費支払済の方は不要）



西神中央、西神南、学園都市からなる西神ニュータウンを中心に、ニュータウンの過去、現在、将来について住民主体で意見交換する西神ニュータウン研究会では、例会を毎月開催しています。例会参加者には、「西神ニュータウン路上探検！おもしろマップ（1、2）」をさしあげます。

西神ニュータウン研究会 〒651-2103 神戸市西区学園西町1-1-1 UNITY内  
TEL: 078-794-4970 FAX: 078-794-4910  
<https://seishin-ntken.net>

# 西神ニュータウンの災害リスクについて、みんなで考えましょう

## 1. 日本でよくある災害は？

災害多発国である日本で起こった過去の被害が大きかった災害の中から、日本固有のリスクを整理します。

## 2. 地震の基本を知る

- 1) 2種類の地震、「活断層での地震」と「プレート境界の地震」は、起こり方が異なります。  
阪神・淡路大震災では「活断層パニック」といえるような社会現象が起りましたが、それを助長したのは、一部のマスコミとそれに同調した専門家でした。地域をリードする知識人として、現時点の科学的な知見を理解して、冷静に対応することができるようにするには地震への基本的な理解が不可欠です。
- 2) 過去の地震から被害を学ぶ  
大震災の被害の記録は、次の災害に立ち向かうための、もっとも重要な情報です。  
地震での死因としては、何が多かったのか？家が壊れた理由は何だったのか？などについて、被害のデータをもとに考えます。
- 3) 南海トラフ地震は、過去から学ぶと「必ず近いうちに来る」ということがわかります。では、それが起こればどのようなことになるのか？西神 NT あたりはどうなるのか？それへの備えをどうするのか？被災想定をもとに考えましょう。
- 4) 南海トラフ地震の発生後、「臨時情報」が発せられる確率は極めて高いです。そもそも「臨時情報」とは何なのか？「臨時情報」について、基本的な理解をしたうえで、西神ニュータウンの住民として「臨時情報」にどのように対処したらよいのかを考えます。(ここで AB 法ワークショップの例を紹介)

## 3. 豪雨災害

- 1) 西神ニュータウンは、いくつかの川に囲まれた丘陵地にできたまちです。  
神戸の川の特徴を知り、また、明石川水系の洪水リスクを考えます。
- 2) 東日本大震災以降、「想定外」をなくすためという理由で、「洪水最大規模」のハザードマップが公開されるようになりましたが、そのリスクの意味を知っておくことが極めて重要です。市民に提示すべき災害リスクのあり方を考えます。
- 3) ニュータウンの洪水対策は、大水害の経験を踏まえて行われています。その特徴的なものとして「調整池」について知り、そのリスクを考えます。
- 4) いくら対策をしても、内水氾濫は必ず発生します。その理由は何かを知り、対応を考えます。